

第18回 研究会

2025年度

新たな「生徒指導」の在り方を考察する

日本生徒指導学会関東支部会

今日の不登校児童生徒は、過去最多の35万人超えを記録し、併せて隠れ不登校も問われている現状にあります。文科省による2024年度の学校に対する調査によれば、小学校・中学校で共通して、「学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった」の選択肢の回答割合が最も多く、いずれも30%を超えています。ついで「生活リズムの不調に関する相談があった」、「不安・抑うつ」の相談があったが25%ほどと多く、「学業の不振や頻繁な宿題の未提出が見られた」(15%)と続きました。この学校から見た不登校の要因には、校種を問わず一定の傾向があることがわかりますが、校種や学年によってその実態は様々です。また、文科省は2019年の「不登校児童生徒への支援の在り方について」という通知で、『「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要があること。』としています。

そこで新たな生徒指導での着眼点を見つけるべく、これらの不登校等の現状・原因を把握のうえ、児童生徒の発達を支え、自立を促すという視点をキーワードとした生徒指導・キャリア教育(進路指導)・学習指導の一体化などを議論し、今後の生徒指導の在り方を見いだすことについて、日本生徒指導学会関東支部会第18回研究会を開催いたします。

この研究会ではこれがわかる!

- ✓ 不登校、いじめ、自殺に関する実態や課題と今後の方向性についてわかる。
- ✓ 社会的自立を促すための支援の「教育の場における支援」と、「生活の場における支援」の2つの側面についてわかる。
- ✓ 進路を深く考える「経験あり群」は、「経験なし群」に比べて、学習意識が高い傾向が見られることがわかる。

開催テーマ

不登校などを含めた発達を支え、自立を促す視点での生徒指導の在り方

開催方式

Zoomによる
リアルタイムオンライン形式

配信拠点

文教大学

東京あだちキャンパス
〒121-8577 東京都足立区花畑五丁目6番1号

日時

2026年 1月24日(土)
13:00~16:00

(12:45~ 入室可)

参加料

無料 (事前申し込み)

定員

200 名程度

(日本生徒指導学会・日本生徒指導学会関東支部会会員)
(日本生徒指導学会の活動への興味・関心のある方を含む)

当日のプログラム

司会・進行 村山大樹 (日本生徒指導学会関東支部会理事/帝京平成大学専任講師)

13:00~13:05 開会の挨拶

会沢信彦 (日本生徒指導学会関東支部会代表/文教大学教授)

13:05~14:05 講演

「社会的自立を促す視点での生徒指導・キャリア教育の在り方」

講師: 新井立夫 (日本生徒指導学会関東支部会副代表/文教大学教授)

14:05~14:10 休憩

14:10~14:50 活動・事例紹介① (40分)

さいたま市生徒指導・教育相談研究会の活動を
自校の実践に生かす取組 (20分)

さいたま市立大宮北中学校 校長 廣江 剛

未来社会をたくましく生き、新たな時代を創り出す生徒の育成を
目指す進路指導・キャリア教育の実践事例 (20分)

さいたま市立大宮北中学校 研究主任 小山育文

14:50~15:20 活動・事例紹介② (30分)

社会的自立を促す集団とソーシャルスキルトレーニング等の事例紹介
千葉県立市川東高等学校 教諭 齊藤敦子

15:20~15:55 討論会

講師・事例紹介者を含め参加者との質疑応答、討論

指定討論者: 相馬誠一 (日本生徒指導学会関東支部会副代表/東京家政大学名誉教授)

15:55~16:00 閉会の挨拶

相馬誠一 (日本生徒指導学会関東支部会副代表/東京家政大学名誉教授)

申込方法

右のQRコードからお申し込み

お申し込み完了後、動画配信アドレス、参加方法を
ご返信いたします。

【研究会参加申し込みフォーム】

<https://bit.ly/2UkXHdy>※通信回線の不具合など開催中止が見込まれる場合は
ホームページにて告知いたしますので、ご確認ください。

こちらからアクセス



お問い合わせ先

E-mail: tatsuo@bunkyo.ac.jp (担当: 新井立夫) TEL: 080-1624-8916

※事前のご相談などはメールでお願いいたします。